

平成31年度・令和元年度 日南市立榎原中学校 学校関係者評価書

【学校経営ビジョン】 学校の教育目標具現化に向けて教職員の資質向上を図り、保護者や地域社会と連携を深めながら子どもの知・徳・体バランスのとれた成長と、将来にわたってたくましく生きていく力を育む教育活動を推進する。

4段階評価 4:達成(期待以上) 3:ほぼ達成(ほぼ期待どおり) 2:不十分(やや期待を下回る) 1:改善を要する(期待を下回る)

評価項目	評価指標	自己評価	成果・課題及び改善策	総合評価	関係者評価	学校関係者評価コメント	
感動する心、自他の命や人権を尊重する心、共生や寛容の心など豊かな人間性を育む。	① 全教育活動を通じた道德教育の展開といのちの教育の充実 【教職員の資質向上】 【健康・安全教育の推進】	生徒	3.6	○成果…特別の教科「道德」に関する職員研修を実施し、授業の在り方について協議することができた。生徒は、学年が上がるにつれて、多角的・多面的なものの見方や考え方による判断ができるようになってきている。また、LGBTに関する授業を行ったことで、多様な生き方に触れるよい機会となった。→主として他者から学ぶ力、社会から学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…学級担任以外の教師も道德の授業を行うなど、生徒一人一人の道徳性を育てる指導を全職員で行っていく。次年度はがん教育にも積極的に取り組みたい。	3.4	3.3	①ほとんどの生徒が思いやりの気持ちをもって周囲の人と接していると言えることがすばらしい。 ①道德に対する認識が、学校でも家庭でも定着している様子が見受けられる。 ②キャリア教育に対する保護者の認識が、昨年度に比べて高まっている。 ②将来の夢が変わっても全然かまわないが、持っているのといないのでは、その結果が大きく変わると思う。人に言えなくとも心に期すものがあるように、ご指導をお願いします。 ③文字による情報収集は身に付くと思う。家庭での読書量が少ないのだろうか。 ③スマホ時代において、読書の習慣は薄れつつある。「本」から学ぶことは多くあると思うので、大変よい取組だと思う。 ③読書に関して保護者の評価が低いので、子どもが読んでいて思っているほどには親は思っていない点に、認識のずれを感じた。 ③家庭での読書時間を少しでも増やしたい。なかなか読書をする時間がとれないと思うが、本を読むことはいいことなので、保護者が努力をするしかないと思う。 ○自己評価は、三者共に高いので、それぞれ達成感があり、よいと思う。
		保護者	3.4				
		教師	3.2				
	② 人権・福祉共育、キャリア教育、平和学習、体験活動、ボランティア活動の推進 【人権教育の充実】 【地域への愛情と豊かな国際感覚を身に付けた人材育成】	生徒	3.6	○成果…キャリア通信の内容を工夫し、キャリア教育に対する保護者の関心を高める工夫をした。ふるさと学や職場体験学習、福祉体験学習、人権と平和を考える集会等を通して学んだことが、生徒にとって自分の生き方を考えるきっかけとなった。また、シーカヤック体験や地域清掃等を通して、生徒は地域から支えられていることを実感できた。朝の奉仕活動の在り方については、生徒会執行部で話し合い、全校生徒が積極的に取り組める方策を考え、実践している。→主として他者から学ぶ力、社会から学ぶ力、地域から学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…体験活動等で学んだことをもとに、自らの行動を振り返り、これからの行動を判断できる力を身に付けさせる手立てが必要である。朝の奉仕活動が、地域への感謝の思いを込めて続けられるように、今後も支援していく。	3.4	3.3	
		保護者	3.2				
		教師	3.3				
	③ 「いつでも、どこでも」読書に親しむ生活環境づくり	生徒	3.3	○成果…図書室の本の生徒一人あたりの平均貸出数は13.5冊である。1・2年生は朝読書にも集中して取り組んでいる。読書通信を定期的に発行し、保護者のおすすめの本等を掲載して、読書に対する啓発を図った。→主として自ら学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…新刊を計画的に購入できているので、古い本の処分を検討するとともに、図書司書と連携してさらに生徒の関心を高める工夫をする。	3.1	3.1	
		保護者	2.7				
		教師	3.4				
「わかる」、「できる」を実感できる授業実践により、学ぶ楽しさや進んで学ぶという意欲を育てる。	④ 小中連携した研究を基盤とした、基礎基本の定着と思考力・表現力の向上 【教職員の資質向上】	生徒	3.3	○成果…中学校の職員間及び小・中学校間で授業を相互に参観することで、教師の授業改善への意識が高まった。特に、全教科共通して「榎原中スタイル」による授業を実践したことで、集中して取り組んだり学ぶ楽しさを味わったりする生徒が増えた。小中学校9カ年を見通した取組により、授業において思考しよとを自分の言葉で表現しようとする生徒の姿が見られるようになった。→主として自ら学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…立腹について、引き続き生徒の意識を高める手立てをとる必要がある。授業改善にも継続して取り組み、生徒の思考力・表現力の向上をさらに目指す。	3.2	3.1	⑤他者と比べると優劣がつくため、保護者の評価が低いのでは。個人の力を伸ばす指導を期待しています。 ○保護者の評価が低いのが気になる。生徒の評価は高いので、理解できているのではないだろうか。文化祭での表現は、すばらしいと感じた。 ○学力が高い低いにかかわらず、達成感を味わわせるといふ取組には大変意義があると思う。引き続き子どもたちが自分の得意分野で達成感を味わえるようご指導お願いします。 ○保護者の評価が低いのに対し、生徒と教師の評価は同じぐらいの高さであるのを見ると、保護者の生徒への期待の高さを感じる。 ○学校での学習に加え、自宅学習の充実も、いま一歩進めてはどうだろうか。
		保護者	2.9				
		教師	3.5				
	⑤ 個に応じた学習支援体制（個別指導）の整備及び「夢をつかむ学力」を育む教育の推進 【特別支援教育の充実】 【学力向上】	生徒	3.2	○成果…配慮を要する生徒についての情報交換と積極的な声かけを行っている。また、外部講師を招いて研修会を実施し、支援の在り方について助言を受けた。全学級共通して、家庭学習の必要性に関する指導をしたり、宅習ノート点検を教科担任が行ったりすることで、家庭学習の内容に深まりが見られるようになった。→主として自ら学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…特別支援教育に関しての組織的な対応について、引き続き研修や協議が必要である。個に応じた学習の手立てについて工夫が必要である。	3.1	3.1	
		保護者	2.8				
		教師	3.2				
	⑥ 深める時間（思考力・判断力・表現力の向上）や確かめる時間（基礎基本の定着）の充実 【学力向上】	生徒	3.6	○成果…深める時間には、日南チャレンジの問題等への取組やセミナーの補充学習等を行っている。確かめる時間には、全国学力・学習状況調査やみやざき学習状況調査の過去問題に取り組み、学びの確認を行っている。→主として自ら学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…教科指導をさらに充実させ、基礎学力と思考力・表現力の向上を図りたい。	3.4	3.4	
		保護者	3.1				
		教師	3.1				
心身の健康増進と体力の向上を図る。	⑦ 生徒会活動の充実 【生徒指導の充実】	生徒	3.8	○成果…担当職員の指導により、各専門委員会活動の活性化が図られた。生徒会執行部会を定期的に実施し、自分たちの課題を自分たちで見つけ、改善しようとする機会を増やした。→主として他者から学ぶ力、自ら学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…1月より新生徒会執行部、新専門委員による活動が始まったので、引き続き自ら課題を見つけ、解決策を話し合っ実践するための支援を行っていく。	3.4	3.4	⑦生徒の自主性に期待したい。 ⑧体力の向上により、多方面にわたってスポーツになじむことができるのではないかな。 ⑧運動会や部活動など、スポーツへの意欲の高さ、指導者の熱意が伝わる。 ⑧あいさつや礼儀は大切なので、今後も指導をよろしく願います。 ○生徒会活動や部活動を生徒や保護者が肯定的にとらえている様子がうかがえて、大変よいことだと思う。勉強面以外で活躍できることがあるということを学んでほしい。 ○すべての項目が高評価である。体力も向上し、体育的行事や部活動も充実した活動ができている。生徒たちの生き生きとした姿を見ることができて、とてもよい。
		保護者	3.4				
		教師	3.0				
	⑧ 体育的行事や部活動を通じた体力の向上 【健康・安全教育の推進】	生徒	3.7	○成果…体力向上を目指し、体育の授業や運動部活動を通して、積極的にサーキットトレーニング等を取り入れている。文化部も、発表会に意欲的に参加しようとする姿勢が見られるようになった。→主として自ら学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…部活動を通して、技術面だけでなく、あいさつや返事、礼儀等についても引き続き指導していく。	3.5	3.4	
		保護者	3.6				
		教師	3.3				
	⑨ 教育相談の充実や食育・性教育・安全教育の推進 【生徒指導の充実】 【健康・安全教育の推進】 【学校給食の充実と食育の推進】	生徒	3.3	○成果…教育相談は、毎学期、全校生徒を対象に確実に実施している。「月末アンケート」を毎月実施し、生徒の悩みや困り感を把握し、全職員で情報共有しながら、指導や助言を行っている。また、毎学期、避難訓練を確実に実施し、命を守ることの大切さを指導した。食育については、各学年の発達段階に応じた指導を、学校栄養職員に依頼して行っている。→主として他者から学ぶ力、自然から学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…健康診断の受診率が今一つである。継続的に受診を勧める。養護助教諭と学級担任とで連携して性教育を実施しているが、さらに内容の充実を図ってきたい。	3.3	3.3	
		保護者	3.1				
		教師	3.4				
保護者や地域社会と連携し、地域に根ざした教育を推進する。	⑩ 総合的な学習の時間の充実 【地域への愛情と豊かな国際感覚を身に付けた人材育成】	生徒	3.7	○成果…「夢ひろば七夕まつり」は、3年生を中心に企画・運営し、全校生徒で積極的に取り組めた。1年間を通し、学年ごとのテーマについて探究し発表したことで、生徒が地域のよさや自分の将来について考えたり、地域への感謝の思いを表現したりすることができるようになった。→主として社会から学ぶ力、他者から学ぶ力、自然から学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…修学旅行が実施される年度は、1・2年生はより計画的に活動をを進めていく必要がある。	3.5	3.4	⑩「夢ひろば七夕まつり」は大変よい企画だと思う。子どもたちが商活動を実際にやってみることは、子どもたちの将来に非常に役立つと思う。ぜひ続けてご指導をお願いします。 ⑩生徒の自主性が、キャリア教育にもつながるのではないかな。 ⑩通信やHPで日頃の学校の様子をうかがい知ることができる。 ⑩地域行事に参加することで、地域も盛り上がるし、地域の人たちとの交流もできるので、励みになる。 ○すべての項目において、ほぼ達成している。すばらしいことだと思う。地域との連携がとてもうまくいっていて、それに携わっておられる方々に感謝です。 ○立派式等の行事についても、地域の方々に声かけをし、参観していただくことで、生徒の励みになるのではないかな。また、例えば小学校5・6年生にも参加させることで、小中一貫教育・連携教育がさらに充実し、小学生とつてもキャリア教育推進の一助となるのではないかな。
		保護者	3.3				
		教師	3.4				
	⑪ 小中一貫教育・連携教育の充実・推進 【教職員の資質向上】	生徒	3.5	○成果…市基礎学力アップ推進事業への取組により、小・中学校連携しての知育・徳育・体育の効果が明確となった。小中合同行事等において、中学生が年長者としての意識をもち、小学生の模範となって積極的に活動する姿が見られた。また、児童生徒相互の連帯感も深まった。→主として自ら学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…小・中学校合同研究会で課題の洗い出しを行っている。次年度に向けて改善策を協議する。	3.4	3.4	
		保護者	3.5				
		教師	3.3				
	⑫ 通信等を活用した積極的な情報発信 【学校管理運営の適正化】	生徒	3.7	○成果…学校だより、学級通信、各分掌部からのたよりは定期的に発行できている。学級通信については、保護者からの返信も確実にいただいている。修学旅行を機に、ホームページの閲覧数が増えた。 ☆課題・改善策…運動会や文化祭等の大きな行事の際には地域の方の参観が多い。フリー参観日（生徒の授業の様子を見ていただく）の参観者数が増えるような働きかけ方を工夫する。	3.7	3.4	
		保護者	3.7				
		教師	3.6				
⑬ 地域行事への積極的参加 【地域への愛情と豊かな国際感覚を身に付けた人材育成】	生徒	3.7	○成果…地域行事に参加可能な場合には、生徒は必ず参加している。また、音楽部の活動を通して地域に貢献している。学校の行事等については、学校地域支援コーディネーターとの綿密な打合せのもと、地域の方々との交流を深めながら活動している。生徒にとって自ら活動しようとする意欲の向上や地域への愛情を育む貴重な機会となっている。→主として社会から学ぶ力、他者から学ぶ力の育成 ☆課題・改善策…地域の方々へのご協力に感謝したい。今後も地域との関わりを意識し、地域に根ざした学校の在り方を工夫していきたい。	3.6	3.4		
	保護者	3.5					
	教師	3.5					
榎原中に入学して(させて)よかったか。	生徒	3.8	○成果…概ね高い評価であった。 ☆課題・改善策…今後も小規模校のよさを生かし、全員が安心して学校に行きたいと思う学校づくりに励んでいきたい。	3.7	3.3	○榎原らしさを今後も継続してほしい。 ○10割を目指したいところである。残念です。 ○平均点で見るとはならず、不十分と感じている少人数の生徒、保護者への対応をお願いしたい。 ○引き続きよろしく願います。	
	保護者	3.5					
	教師	3.5					